

海洋深層水利用学会

2018 年度定期総会議案書



議事次第

番号	項目
I	開会の辞
II	議長選出
III	会長挨拶
IV	2018-2019 年度理事選挙結果
V	2017 年度事業報告
VI	2017 年度決算報告
VII	2017 年度監査報告
VIII	2018 年度事業計画
IX	2018 年度予算
X	その他
XI	閉会の辞

日時:2018 年 5 月 24 日(木) 13:30-14:45

場所:東京海洋大学 品川キャンパス 白鷹館 2 階多目的スペース 1

IV. 2018-2019 年度理事選挙結果

理事選出者

個人会員：

池上 康之
今田 千秋
大内 一之
大塚 耕司
尾高 義夫
清水 勝公
高橋 正征
深見 公雄
安永 健
山田 勝久

団体会員〔担当者氏名〕：

沖縄県〔久保 弘文〕
高知県〔川北 浩久〕
富山県〔田子 泰彦〕
一般社団法人マリノフォーラム 21〔白石 學〕

※50 音順（敬称略）

V. 2017 年度事業報告

1. 事務局

〔1〕 会員動向

年	月	個人	団体
2011	3	160	45
2012	3	162	45
2013	3	151	43
2014	5	148	42
2015	5	141	46
2016	5	134	44
2017	5	130	44
2018	5(24日)	122	44

〔2〕 2017 年度定期総会

日時： 2017 年 5 月 25 日(木) 14:30 - 15:10

場所： 東京海洋大学 品川キャンパス 2 号館 2 階 200A 会議室

議題： 1. 2016 年度事業報告ならび収支報告について
2. 2017 年度事業計画ならびに予算案について
3. その他

講演会：

1. 「水産生物，特に甲殻類の飼育における海洋深層水利用の有効性能立証とその利用推進」
岡本 一利 氏（静岡県水産技術研究所）
2. 「脱塩海洋深層水の飲料水利用と健康維持増進作用の評価および医学応用」
 - ①脱塩海洋深層水の飲料水利用と健康増進作用および地場産業への波及効果
浅川 良住 氏（マリンゴールド株式会社）
 - ②赤穂化成株式会社 飲料水への利用
端口 佳宏 氏（赤穂化成株式会社）
 - ③脱塩海洋深層水の飲料水利用と健康増進作用の評価および医学応用
竹内 啓晃 氏（高知大学医学部）
3. 「海洋深層水の温浴施設への利用とその健康影響の評価と普及」
 - ①海洋深層水温浴施設による心と体の健康づくり
国吉 理恵 氏（バーデハウス久米島）
 - ②海洋深層水を利用したタラソセラピー研究
新村 哲夫 氏（富山大学医学薬学研究部）

懇親会：於 栄華楼 新館（えいかろうしんかん）

〔3〕2017年度理事会

- 第1回 日時：2017年5月25日（木） 10:00-14:00
場所：東京海洋大学品川キャンパス 2号館2階 200A会議室
- 第2回 日時：2017年10月12日（木） 11:20-12:25
場所：羅臼町公民館内会議室（北海道羅臼町）
- 第3回 日時：2018年3月16日（金） 10:00-12:00
場所：東京海洋大学品川キャンパス 2号館2階 200A会議室

2. 学会賞授賞審査委員会

2017年度は候補者推薦なし

3. 研究発表企画委員会

第21回 海洋深層水利用学会 全国大会

日時：平成29年10月12日（木）、13日（金）

場所：羅臼町公民館（北海道）

開催内容：

- ① 一般講演：研究発表21題
海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：7題
健康・医療関連：7題
利活用システム関連他：7題
- ② ポスター発表3題

見学会：

- ① 羅臼漁港・秋サケ定置漁業の見学会
- ② 羅臼漁港内取水・衛生管理型漁港施設、羅臼ビジターセンター、道の駅「道の駅知床・らうす」

開催状況（参加者）：

総員130名（スタッフ22名含む）

会員75名、一般30名、学生2名 ※韓国、台湾の海外からも参加頂きました

4. 論文誌編集委員会

- [1] 「海洋深層水研究 第18巻 第1号」 (2017年10月発行)
原著論文3件、解説記事1件など
- [2] 「海洋深層水研究 第18巻 第2号」 (2017年10月発行)
北海道大会講演要旨集
- [3] 「海洋深層水研究 第18巻 第3号」 (2017年12月発行)
海洋深層水利用学会発足20周年記念号 特集記事

5. ニュースレター編集委員会

[1] Vol. 20, No. 1 (2017年7月発行)

トピックス1: 「平成28年度省エネ大賞の受賞について」
小松静雄 (室戸海洋深層水株式会社 代表取締役社長)
報告: 「海洋深層水利用学会2017年度定期総会報告」
海洋深層水利用学会事務局
報告: 「海洋深層水利用学会2017年度第1回理事会報告」
海洋深層水利用学会事務局

[2] Vol. 20, No. 2 (2018年1月発行)

トピックス1: 「『海洋深層水によるカキの蓄養方法』特許取得について」
鷲足恭子 (株式会社ジーオー・ファーム 代表取締役社長)
トピックス2: 「日本マクロエンジニアリング学会シンポジウム～海洋深層水活用による地方創生～」
迹目英正 (株式会社デザインウォーター代表取締役 日本マクロエンジニアリング学会会員)
報告1: 「海洋深層水利用促進委員会2017北海道大会報告」
山田勝久 (海洋深層水利用学会 利用促進委員会)
報告2: 「第21回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2017北海道大会 報告」
清水勝公 (海洋深層水利用学会 研究発表企画委員会委員長)
報告3: 「2017台湾深層海水資源利用学会大会開催報告」
黄 秉益 (台湾深層海水資源利用学会 事務局長)
報告4: 「第4回韓国海洋深層水国際シンポジウムに参加して」
高橋正征 (海洋深層水利用学会 会長)

6. ホームページ編集委員会

主な活動内容 … ホームページ更新・メール配信*

[1] 開催案内・報告等

- ① 総会・理事会開催案内および報告
- ② 全国大会 (研究発表会) 案内・報告、ホームページからの申込み
- ③ 学会賞候補者募集、授与対象および受賞式報告
- ④ 利用者懇談会開催報告

[2] 発刊物

- ② ニュースレター: 第20巻第1、2号
- ② 論文誌: 第18巻第1～3号

[3] 既存ページの更新・追加等

[学会について] (活動内容、組織構成・役員等、学会発足20周年記念会長メッセージを掲載)
[団体会員紹介] [リンク] (*英文サイトの充実: 新規発刊分のニュースレター、論文誌目次)
[学会賞] [ニュースレター] [全国利用者懇談会 (新設)]

その他（「第3期海洋基本計画の策定に向けた提言」を掲載 等）

※メールアドレス登録会員へのメール配信：15件

（メールニュース3件、全国大会関連3件、定期総会・学会賞候補募集案内、協賛ワークショップ・深層水関連フォーラム・講演会案内 等）

7. 利用促進委員会

全国利用者懇談会（2017 海洋深層水利用学会全国大会・北海道大会）

日 時：2017 年 10 月 11 日（木）15:00～16:00

テーマ：北海道における海洋深層水の利活用について

参加者：約 40 名

内 容：

【企画・進行】

西川明豪 様（株式会社エコニクス）

【北海道各取水地の利活用状況について】

- ① 羅臼町 水産分野 山石秀樹 様
加工分野 宗形 卓 様
- ② 岩内町 釜谷豊和 様
- ③ 八雲町 黒丸 勤 様

【内容】

ニュースレター（第 20 巻, 2 号, p. 3, 2017）にて配信

開催計画していた「わたしのお気に入りアワード」は、開催地地元の意向で中止となった。

8. 日台交流委員会

① 会員派遣

2017 年 10 月 30 日に開催された、台湾深層海水利用コンソーシアム結成式および 2017 深層海水シンポジウムの講師として、高知大学医学部 竹内啓晃講師を派遣した。

② ニュースレターへの学会大会報告

2017 年 10 月 30 日に開催された、台湾深層海水利用コンソーシアム結成式および 2017 深層海水シンポジウム、ならびに 2017 台湾深層海水資源利用学会大会の報告を DOWAS ニュースレター Vol. 20, No. 2 に掲載した。

9. 20 周年記念編集委員会

1997 年に海洋深層水利用研究会として設立してからの、創立 20 周年を記念し、海洋深層水利用学会誌に特集記事を掲載するための編集作業を実施した。特集記事は「海洋深層水研究 第 18 巻 第 3 号」に掲載した。

VI. 2017年度決算報告

2017年度会計収支報告書

収入の部	予算			決算		
	人数			人数		
収入の部						
会費収入						
個人会員	5,000	128	640,000	5,000	120	600,000 未納 11名
学生会員	2,500	2	5,000	2,500	4	10,000
団体会員	50,000	44	2,200,000	50,000	44	2,200,000 未納1社
徴収免除会員(名誉会員)	-	1	0	-	1	0
未納分会費収入	5,000	10	50,000	5,000	5	25,000
その他の収入						
論文誌売上費			0			16,000
利息			0			55
雑収入						0
当期収入合計(A)			2,895,000			2,851,055
前年度繰越金			6,057,015			6,057,015
収入合計(B)			8,952,015			8,908,070
支出の部						
事業費						
総会			30,000			16,920
研究発表企画委員会			500,000			460,518
論文誌編集委員会			1,300,000			1,470,038
HP/NL編集委員会			250,000			180,360
日台交流委員会			100,000			220,327
利用促進委員会			20,000			0
選挙管理委員会			30,000			31,676
事務局経費						
委託費			1,200,000			1,200,000
消耗品費			} 200,000			7,142
通信運搬費						11,359
旅費						97,550
その他事務局経費						28,296
当期支出合計(C)			3,630,000			3,724,186
当期収支差額(A)-(C)			-735,000			-873,131
次年度繰越金(B)-(C)			5,322,015			5,183,884

VII. 2017年度監査報告

2018年3月15日

海洋深層水利用学会

会長 高橋 正征 様

2017年度会計監査報告

2017年度における本学会の会計に関して、出納帳簿および証拠書類を精査し、現金・預金の残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されているものと認めました。

また、その他の会務に関しましても、会則に沿って適正に執行されているものと認めました。

以上、署名の上、報告します。

監査
白石 學

VIII. 2018年度事業計画

1. 総会および理事会

[1] 2018年度定期総会

開催日：2018年5月24日(木) 13:30 - 14:45

場 所：東京海洋大学 品川キャンパス 白鷹館2階多目的スペース1

議 題：2018-2019年度理事選挙結果

2017年度事業報告

2017年度決算報告

2017年度監査報告

2018年度事業計画

2018年度予算

その他

講演会：

1. 【第3期海洋基本計画について(仮)】

内閣府総合海洋政策推進事務局局長 羽尾 一郎 氏

2. 【離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査について】

沖縄総合事務局経済産業部商務通商課 野原 貞夫 氏

情報交換会： 栄華楼 新館(えいかりょうしんかん)

[2] 2018年度理事会

第1回理事会

開催日：2018年5月24日(木) 10:30 - 14:00

場 所：東京海洋大学 品川キャンパス 2号館2階200A-2会議室

ほかメール審議を含め数回程度理事会を開催する予定

2. 研究発表委員会

第22回海洋深層水利用学会全国大会

開催日：2018年10月18日(木)、19日(金)

開催場所：韓国 高城 国会研修館(予定)

3. 論文誌編集委員会

「海洋深層水研究」第19巻第1号・2号3号の発行

印刷部数：各300部程度

第2号については全国大会要旨集

4. ニュースレター編集委員会

年4回のニュースレター発行(6月、9月、12月、2019年3月)

内容：ニュースレター、特集、報告等

5. ホームページ編集委員会

ホームページ更新・メール配信

- ①開催案内・報告等：総会・理事会開催、全国大会・利用者懇談会関連（申込みフォーム）、学会賞
- ②発行物：ニューズレター、論文誌
- ③既存ページの更新・追加等

6. 学会賞受賞審査委員会

学会賞候補者の募集（4月2日ホームページ掲示、4月20日メール配信）
推薦期限：2018年7月31日（月）必着
提出書類：別紙様式（郵送またはメール）
書類提出先：海洋深層水利用学会 事務局

7. 利用促進委員会

- [1]全国利用者懇談会（2018 海洋深層水利用学会全国大会）
開催日：2018年10月17日（水）
開催場所：韓国 高城 国会研修館（予定）
- [2]海洋深層水の利用促進に向けた医療・健康分野における周知・啓発活動

8. 日台交流委員会

- 日台交流協定に基づき、以下の事業を実施する。
- (1) 相互の学会大会への会員の派遣に関する事
 - (2) 相互の学会論文集への論文投稿に関する事
 - (3) 相互の情報誌への記事掲載に関する事

IX. 2018 年度予算

2018 年度一般会計予算案

単位(円)

収入の部

【会費収入】	個人会費収入	122*	¥5,000	¥610,000
	学生会費収入	4*	¥2,500	¥10,000
	団体会費収入	44*	¥50,000	¥2,200,000
	2017年度会費収入(未納個人)	7*	¥5,000	¥35,000
	<u>2017年度会費収入(未納団体)</u>	<u>1*</u>	<u>¥50,000</u>	<u>¥50,000</u>
期収入合計[A]				¥2,905,000
	繰越金			¥5,183,884
収入合計[B]				¥8,088,884

支出の部

【事業費】	総会			¥30,000
	研究発表企画委員会			¥500,000
	論文誌編集委員会			¥1,000,000
	HP/NL編集委員会			¥250,000
	利用促進委員会			¥30,000
	日台交流委員会			¥100,000
【事務局経費】	委託費			¥1,200,000
	その他事務経費			¥200,000
当期支出合計[C]				¥3,310,000
次年度繰越金[B]-[C]				¥4,778,884
当年度収支[A]-[C]				¥-405,000

X. その他